バケツイネ選手権2019 開催要項

●バケツイネ選手権とは？

バケツイネの収穫量コンテスト。「1粒の種モミを、何粒に増やせるか」を競います。自ら創意工夫して1粒の種モミの可能性に挑戦し、その生命力を目の当たりにしたい、1本植えによるイネつくりのおもしろさを味わいたい人はどなたでも参加できます。年齢制限はなし。今年で8回目です。

●ルール

・イネの品種、土、肥料、播種時期など、栽培方法は自由。参加費は無料。

・決められた容量の容器をつかい、イネは必ず1本植え（1粒の種モミから発芽した苗）とする。苗をつくって田植えするか、直まきにする（種モミを直接バケツ田んぼにまく） かは自由。

●部門

（１）バケツ部門：20L以下の容器を使い、1本植え。下の2つのどちらかの部を選んで記録提出。

・プロの部　稲作農家、農業指導者・研究者などのイネの専門家

・一般の部　プロ以外誰でも参加できる

（２）ペットボトル部門：2L以下の容器を使い、1本植え。 プロアマは問わない

●表彰

各部門とも1位の方には図書カード5,000円分と表彰状を授与（3位まで副賞あり）。

結果発表は「現代農業」誌上で行う予定。

●応募方法

バケツイネ記録用紙、アンケート用紙に必要事項を記入の上、写真を添付し、2019年12月6日（金）までに農文協「バケツイネ選手権係」に郵送で提出（当日消印有効）。メールで送付する場合は、下記の項目が必要です。

□イネの品種　□土の種類　□タネまきの日　□苗の姿（写真）

□田植えの日　□肥料のやり方（なにを、いつ、どのくらい？）　□穂が出始めた日

□出穂から約 30 日後の株の姿(写真)

□収穫前の株の姿（写真）　□収穫の日　□最終的な茎の本数

□穂だけを切り取り 10 本ずつ並べた写真　□元気のいい穂の姿（写真）と、穂に実ったモミの数

□実ったモミ（水に入れて沈んだもの）を乾燥させたときの重さ（1 株分）＝Ａ

□実ったモミ 1,000 粒分の重さ（およそ 20～30g）＝Ｂ

□実ったモミの粒数

□500mℓペットボトルに実ったモミ（水に沈んだ）とクズ米（水に浮いた）をそれぞれ入れて撮った写真

※下線部は記録の必須項目

主催・問合せ先：一般社団法人　農山漁村文化協会　バケツイネ選手権係
〒107-8668 東京都港区赤坂 7-6-1 TEL03-3585-1159　FAX03-3585-6466 メール noranora@mail.ruralnet.or.jp

イラスト：小川剛